

伊予市図書館・文化ホール等建設基本計画（案）に対する市民意見公募の結果について

市民の皆さまから「伊予市図書館・文化ホール等建設基本計画（案）」に対する意見を募集したところ、下記のご意見をいただきました。

提出された意見を考慮し「伊予市図書館・文化ホール等建設基本計画」を策定しましたので、ここに意見の概要と市の考え方を公表いたします。

1 意見の募集期間

平成 25 年 2 月 5 日（火曜日）～平成 25 年 2 月 26 日（火曜日） 22 日間

2 意見の提出状況

(1) 提出者数 1 人

〔提出方法：郵送一人 FAX一人 E メール一人 持参 1 人〕

(2)意見の概要 3 項目 3 件

3 意見の概要内訳

区 分	件 数
①文化ホールのことについて	1 件
②公民館のことについて	1 件
③騒音対策を含めた配置計画について	1 件

条例第 8 条第 2 項の規定による公表内容

実施機関名（担当部課）		伊 予 市 長（ 総務部 庁舎建設課 ）
政策等の案の名称		伊予市図書館・文化ホール等建設基本計画（案）
政策等の趣旨・目的 作成経緯		子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが自発的に豊かなまちづくりに参画するために、文化芸術振興の拠点となる文化ホール、市民の学習・創造活動を支援する図書館、公民館を計画する。
No.	市民等からの意見（概要）	実施機関の考え方及び修正した場合の内容
1	現市民会館の稼働率 10%前後と聞くが、設備施設の老朽化もあろうが（折々の手立てがつくされていない）、使用するアーティストの要望に応えられていない点を反省点とし、新しい設備を他に誇れる位、良い物に仕上げて欲しい。 交通の便も良い伊予市へ人を呼ぶ事が出来る（市の活性化）。過去の実績など参考にしないで（計画、行動が最良であったとは云えない）、これからの担当者は静から動に転ずべきで最大の努力をすべきである。 その為には、最低現在の 600 席かそれ以上必要である。伊予市をアピールする事に出来る前から市へ人を呼ぶと云う考えが後退しているように感じる。	市では、文化芸術活動などを通じて、伊予市の未来を担う心豊かな子どもたちとそれを支える人たちが出会い、伊予市らしさのある文化をつなげる仕組み作りを目指しています。 そのためにも、人と環境にやさしく、誰もが利用しやすいホールの整備を行い、文化芸術の拠点として地域文化を守り育てる環境を目指します。運営面などのソフトは、ワークショップなどを開催し、提案を設計に反映させるよう配慮します。 客席規模は近隣のホールの位置や規模、舞台までの視距離などの目安から基準を想定しておりますが、今後の基本設計において、市民の意見を反映し、利用ニーズに合った客席数を決定するものとします。
2	公民館スペースにある多目的ホールには、残りの何もかも集めたら良いと云う様に感じられる。これを調整し、文化ホール面積増に廻し（使用に応じ大小区切るとか）、今後出来るであろう新市庁舎正面ロビーを広くとり、2F まで吹き抜けとし、市民の（小さな）発表の場等に使えるスペースにする（土、日開放）（参考、高知県梼原町舎）	多目的ホールは、社会教育法に基づく公民館の目的を達成するために設置し、体育、レクリエーション等に関する集会などを開催できる環境を備えます。利用及び運営形態は、利用実績も踏まえ、市民の利用ニーズに合った方法を検討します。
3	文化ホールの催し物が増加した場合（担当者の努力を期待して）図書館が 1F、2F に分かれているが、騒音対策も含め、特に閲覧室は同階にすべきではないか。（広くなり、流れを横にした方が利用しやすい）	施設機能の平面配置計画については、今後の設計において検討します。 文化ホール機能の音や振動をコントロールするなど、併設する他の機能に影響を与えないよう十分な対策を取ることを明記します。